

大分県中小企業活性化条例推進委員会 議事概要

日時：令和6年10月21日(月)10:00～12:00

場所：大分県庁本館2階 正庁ホール

No.	項目	委員の発言要旨	県の回答
1	(1) 委員長の選任について	学識経験者であり、中小企業施策に精通する高い見識を持つ渡邊委員にお願いしたい。	-
2	(2) 中小企業活性化に係る取組の進捗について	2023年秋から2024年春の500社訪問の動向について、2024年春の大きな特徴はなにか。またDXについて、「何から手をつければいいのか分からない」という回答があるが、訪問の際に助言などされているか。	・人材確保や賃上げが近年の特徴 ・これまではDXの導入についてご説明していたところ、昨今はDXの使い方についてご説明することが増えている。
3	て	人材の確保について、外国人の雇用は頭打ちになってきているので、在宅や副業の人材確保も進めてみてはどうか。	人手不足はどの産業でも共通の課題。外国人労働者の雇用のほか、UIJターンのスキルアップ移住など取り組んでいるところ。外国人労働者の定着や在宅・副業人材の活躍の場など、多くの方々が働ける環境を整備していきたい。
4		ハローワークのマッチングがうまくいっていない。求めている人材とは的外れな人材を斡旋されて、お互いに不快な思いをすることがある。	労働局と連携して対策をしていく。
5		最低賃金の引き上げに伴い、主婦や副業の年収130万円の壁が人材を減らす要因になっている。	国が年収の壁については検討しているところ。県としても、状況に応じて対策を取りたい。

No.	項目	委員の発言要旨	県の回答
6		価格転嫁が重要な課題になってきており、大分県独自の価格転嫁モデルとして工業が率先して賃上げや価格転嫁をすることで、商業、飲食、サービス業が後押しされる流れができるとよい。	-
7		中小企業で5%以上の賃上げというのは難しいが、その代わりに労働時間の短縮など生産性向上に力を入れている。	-
8	(3) 新長期 総合計 画につ いて	福岡県内大学県内外出身者の新卒県内就職者数（人）について、卒業時点の22歳人口は今後も減少していくことが想定される。絶対値ではなくて、他の雇用指標と同様に割合（%）で示した方がよいのでは。	427人の考え方はdot.開設時からの就職者数の平均に5%の努力目標を加えた数値となっているところ。ご指摘の点も踏まえて検討したい。
9		DXを進めるにあたり、企業とコンサルをつなぐ支援があるとよい。	DXコーディネーターを整備しているとともに、商工会議所と連携してDXの推進をしている。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン商談会から対面商談会に変更は賛成。 ・県の専門家派遣を利用した際に、その専門家に仕事を発注するように仕向けられることがあるので、改善してもらいたい。 	県の事業として専門家派遣をしていることを再度意識していただくよう促したい。

No.	項目	委員の発言要旨	県の回答
11		海外展開のチャレンジを後押しいただけるような支援は非常にありがたい。	JETROや関係機関と連携して、年度における国ごとの商談会や展示会のスケジュールやサポートを一覧にしたいと考えている。
12		観光については色々していただいているので、基本的に継続していただければと思う。ただ、県外で催しをする折には、大手ばかりではなく、鉄輪や明礬など小さなところもアピールができるとうい。	-
13		DXを進めていくことが今後も非常に重要なので、費用面などサポートしてもらえるとよい。	-
14		小さな企業も商談会や展示会などに参加できるよう情報を発信してほしい。	万博等の契機を活用して地域の魅力ある商品をPRしたい。
15		おおいた子育て応援団認証企業について、認証のハードルが高いように思うので、もっと簡単にできるようにしてもらいたい。	個別にご説明させていただく。

No.	項目	委員の発言要旨	県の回答
16	(4) 令和7年度 の方向性 について	起業支援は手厚いものの、起業直後に雇用する従業員は、定時で帰るような人材では困るというのが正直なところ。スタートアップ志望の方などをマッチングしてくれるようになれば、次にさらに進めるようになるのでは。 建設産業でも工業高校のような専門性がなくても体育会系の人材を募集していたりするような声を聞く。	いただいた意見について検討したい。
17		学生が県内企業を知らないためか、説明会に学生が集まらない。	-
18		高齢者の活用も検討してもらいたい。	-
19		今年度から代位弁済が増加している。経営者保証免除の取組をしているほか、経営支援や専門家派遣など後押しをこれからもしていきたい。	-
20		DXについて全部を一斉に揃えるのではなく段階的な支援をしてもらえるとよい。	-
21		価格転嫁を支援できるような施策を考えていただきたい。	-
22		展示会の補助金がコロナ禍から減ったままだと思う。展示会の費用は多くかかるので元に戻してもらいたい。	コロナ禍で減ったことも考えられるので、増やしたほうがいいのか検討したい。市町村や支援団体等の支援策をわかりやすく届けることについても取り組んでいきたい。
23		・旅行客の受入体制の強化が必要であり、特に地元の宿泊事業者等への経営支援をいただけるとありがたい。 ・DXを進める中で別府は温泉地なので、機械ものは1年持たない。その点ご配慮いただき支援をお願いしたい。	-
24		地域ごとに小さなコミュニティで就職支援することもよいのではないか。	-
25		国東の宇宙事業を前向きに進めてほしい。技術を転換できるような自動車などの関連企業の業績が上向きになることが期待できる。	-

No.	項目	委員の発言要旨	県の回答
26		小学一年生に防犯ブザーが配布されるが、子育てをしながら働くという面でGPSの配布をお願いしたい。	-
27		県が進める水素サプライチェーンの構築の中で支援をお願いしたい。	-
28		<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格転嫁に関する目標指標を入れることを検討してもらいたい。 ・ 地域懇話会の実施を検討してもらいたい。 	-